

# 中国地域ニュービジネス特別賞

## 表彰事業

糖尿病を中心とした慢性疾患の「重症化予防指導プログラム」

## 株式会社 DPPヘルスパートナーズ

代表取締役社長 やまね ひろお 山根 博生



## 受賞理由

医師管理下にあるハイリスク群患者に対する保健師・看護師による重症化予防指導サービスを全国で初めて事業化している。平成20年より厚生労働省が「特定保健指導プログラム制度」を導入したが、これは一般の看護師・保健師・管理栄養士らによる生活指導であり、医師の管理下状態ではない糖尿病患者予備軍や初期患者を対象としたものであった。本サービスは、専門的知識と専門教育を受けた看護師・保健師が、糖尿病などがすでに進行している対象者に対して、広島大学大学院森山美知子教授が開発したオリジナルテキストなどを使い自己管理ができるように考えられた最新の医学・行動科学や、呉市での実績に基づいた生活指導法を提供するところに独自性がある。営業対象先は、国民健康保険(自治体)などのすべての保険者であり、原則として指導を受ける対象者本人の自己負担はない。人工透析予防を中心に医療費の大幅な削減に効果が期待できるサービスである。

## ポイント

- ・大学発ベンチャーとして、民間企業等の出資・支援を仰ぎながら事業化が順調に進んでいる。
- ・広島大学森山教授の研究成果をもとにした平成22年からの呉市との実証研究(委託事業)で、新規透析患者数の減少と医療費の軽減というかつてない成果が出ている。
- ・医師と連携し、当社の教育を受けて専門的知識を身に付けた看護師・保健師が生活指導を行うところが、競合他社にない独自性・優位性となっている。

## 事業概要

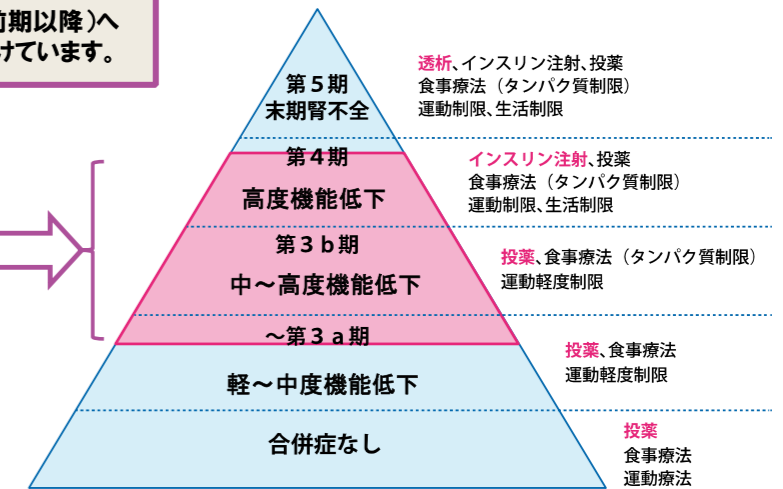
株式会社DPPヘルスパートナーズは、広島大学大学院森山美知子教授の研究成果を基に慢性腎症患者の「人工透析移行防止」を最重要課題とし、大学発ベンチャーとして平成22年に起業した企業である。いわゆる未病者に対する「特定保健指導」とは異なり、既に医療機関で治療を受けている「重症度の高い階層」者への生活指導を、特別な教育を受けた専門性の高い看護師がかかりつけの医師と連携を取りながら行う生活指導の事業化は、我が国初の試みである。当社の指導法の特徴は、従来の知識提供型ではなく、ストレスマネジメントを核とした独自開発のコーチング手法により「栄養」・「運動」・「服薬」などの個別指導を行い、対象者の自己管理能力を高めることにある。この指導法は呉市の保健事業で実証されたエビデンスに基づいており、厚労省は今年度「重症化予防事業の好事例(呉市モデル)を横展開させる」ための予算を計上している。

推薦団体 広島大学 産学・地域連携センター

会社所在地	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23三井生命広島駅前ビル2階		
T E L	082-263-8874	U R L	http://www.dpphp.jp
会社設立	平成22年12月	従業員数	69名(平成26年3月31日現在)
資本金	47百万円	売上高	65百万円(平成25年3月期)

# 生活習慣による慢性疾患患者への重症化・再発予防指導

糖尿病ハイリスク群(顕性腎症前期以降)への重症化予防プログラムを手掛けています。



慢性腎臓病(CKD)の重症度分類

## ●プログラムの特徴

1. 広島大学大学院医歯薬学保健学研究科/森山教授の研究によるエビデンス(科学的根拠)に裏づけされた内容。
2. 研究成果に基づいて作成された分かり易いテキストと自己管理手帳などの補助教材を活用。
3. かかりつけ医や専門医との密接な連携を保ちながらの安心できる指導法。
4. 臨床経験をベースに更に専門的な訓練を受けた看護師・保健師・管理栄養士による効果的な指導サービスの提供。

・QOL(生活の質)の向上  
・医療費の適正化をサポート

